

昭和 55 年度日本気象学会総会議事録

日 時 昭和55年 5月22日(木) 15.00~16.00

場 所 日本教育会館

| | |
|------------|------|
| 出席者数 | 191名 |
| 書面参加および委任状 | 744名 |
| 計 | 935名 |

1. 開 会

小平理事より、総会の成立には、定款第38条により通常会員現在数3,578名の1/5すなわち715名以上の出席が必要であり、委任状によらない通常会員の1/25の143名以上出席することになっているが、委任状が744通きており、この会場に191名出席されており、計935名で総会は成立すると開会が宣言された。

議長選出

小平理事より、議長の選出は、定款第35条で出席会員の互選により決めることになっているが、慣例により大会委員長を議長に推したいと語ったところ、満場一致で竹内清秀大会委員長が議長に決定した。

2. 議長あいさつ

ただいま御指名によりまして、議長を務めさせていただきますことになりました竹内です。皆様の御協力によりまして総会が円滑に終了できますようお願いいたします。

3. 理事長あいさつ(岸保勘三郎)

昨年の総会以後会員数は、242名増え総数3,578名となった。また、賛助会員も6社増え全体で41社となった。

本総会の議題としては、会費値上げの件を御審議願いたい。これは、最近の諸物価値上げに伴うもので、理事会としては、不本意ながら会費値上げを提案する次第である。

学会活動の報告としては、まず国際協力事業のことを述べておきたい。昨年は、FGGE (First Global GARP Experiment), MONEX (モンスーン実験計画), POLEX (極実験計画) が成功裡に実施され、史上はじめての全地球的規模の膨大なデータが入手された。学会としては関連機関と協力して、研究者がこれらのデータを充分に利用できるよう配慮してゆきたい。MAP (中層大気観測計画) は、今月中に行われる測地審議会でも建議の形で承認される予定で、来年度から予算措置がとられることになる。

国内では学会活動の一つとして、国際学術連合会議(ICSU)と世界気象機関(WMO)との間に協定された世界気候研究プログラムのことをふれておきたい。わが国での気候研究プログラムは、主として学術会議世界気候小委員会できとりあげられており、現在計画案について検討がなされつつある(「天気」4月号参照)。学会としては、シンポジウムの開催などを通して、会員の御意見をくみ入れてゆきたいと思う。

最後に1982年の気象学会創立100周年記念事業の大体の計画案を述べてみたい。

主な事業としては、100年祭の実施、「天気」「気象集誌」の特別号の発行を計画している。一方、記念講演会としては、次のようなことを考えている。1982年5月には「気候変動に対する海洋の影響」という研究会が世界気候プログラムの一環として東京で開催されるので、この会議の出席者の中から2名位の著名な研究者にお願いして地方支部での記念講演会を考えている。また、記念シンポジウムとしてはWMOとの共催の形で、1982年秋に東京で「Regional Study Conference on Tropical Meteorology」を開催することも考えている。

4. 気象学会賞授与

浅井理事から、選定理由の紹介があり、満場拍手のうちに岸保理事長から次の会員に賞状、賞牌、賞金が授与された。

新田 勳 会員：積雲対流と大規模運動の相互作用に関する解析的研究

5. 藤原賞授与

浅井理事から選定理由の紹介があり、満場拍手のうちに岸保理事長から次の会員に賞状、賞牌、賞金が授与された。

小倉義光 会員：気象力学の発展および教育普及に尽した功績

6. 山本賞授与

浅井理事から選定理由の紹介があり、満場拍手のうちに岸保理事長から次の会員に賞状、賞牌、賞金が授与された。

中村 一 会員：大気大循環に及ぼす山岳の力学効果

7. 昭和54年度事業経過報告

小平理事から次のとおり説明が行われた。

- (1) 機関誌は、内容が充実し順調に発行された。「気象研究ノート」も予定どおり発行できた。「天気」に「ひまわり」の画像から」を掲載しているが好評を博している。

「天気」は、総頁数 842 頁で 1 ヶ月平均約 70 頁である。「気象集誌」は、610 頁 (57 巻 2 号～58 巻 1 号) となり文部省へ申告の 557 頁を大幅に上廻った。

- (2) 学会賞は横山長之会員に、藤原賞は山本武夫会員にそれぞれ授与した。また奨励金は、昨年秋福岡の大会で、木村悠会員 (愛媛県教育センター)、坂上公平会員 (輪島測候所)、小柴厚会員 (福岡管区気象台) にそれぞれ贈呈した。

- (3) 夏季大学は、回を重ねること第 13 回となった。新しい試みとして関西支部で大阪でも開催したが、東京よりも遥かに多い参加者となった。参加者は、東京 95 名、大阪 146 名の多きに達した。

- (4) 文部省特別研究「環境科学」気候変動と人間活動検討班と共催で、気候変動に関するシンポジウムを 8 月 24 日、9 月 13 日、11 月 19 日の 3 回気象庁講堂で行った。また、昭和 55 年 2 月 23 日長期予報・大気大循環の月例会を気象庁で行った。

- (5) 故名誉会員山本義一氏の寄付金による基金で山本賞 (「天気」または「気象集誌」に発表された優秀な論文を対象) が制定された。

議長が以上の報告に対し質問を促したところ別に質問はなく満場拍手のうちに承認された。

8. 昭和54年度会計決算報告

関根理事から別紙資料にもとずき次のとおり説明が行われた。

昨年度までは、1 枚の決算書で済ませていたが、お手元にある資料 (605～612 頁) のとおり今年度からは、総理府の指示による公益法人の会計基準ののった新形式の決算書、予算書を作成したが、これは複式簿記に移行するためのもので、科目も大、中、小にわけわかりやすくなった。

(1) 収入の部

ア. 会費収入は、予算をたてる場合会員数の 98% で計上するが、事務局の努力により 100% 近い会費納入となり、また、通常会員、賛助会員の増加や、団体会費が次年度に入ってくる関係で予算額より大幅に増額となった。

イ. 事業収入は、「気象研究ノート」の収入が予算より下廻り大幅に減となった。

ウ. 補助金収入は、文部省補助金が前年度より 24 万円の増となった。

エ. 従来は、雑収入に預金収入も一括計上していたが、二本建にし雑収入と基本財産収入とした。

オ. 繰越金を前受金 (前納会費) と前期繰越収支差額とした。

(2) 支出の部

ア. 学会の運営に必要な管理費と事業遂行のために必要な事業費とにわけた。

イ. 管理費の方の会議費は、理事会、各種小委員会の経費で節約につとめた結果、約 28 万円の減で、一方事業費の会議費は、春、秋の大会運営費、夏季大学の会場借上費等である。

ウ. 事業費の印刷製本費が予算額より大幅に増えているのは、機関誌の発行分が年度内に支払不能となったためである。

エ. 積立預金が予算額より 150 万円多くなったのは、100 周年記念準備委員会での計画がいつまてきて、53 年度から 200 万円づつ積立てることにしていたが、4 か年で 800 万円では不足するおそれがあるので、理事会の承認により増額となったためである。

オ. 通信運搬費がいずれも支出減となったのは、年度内に郵便料金の値上げが行われなかったためである。

カ. 次期繰越金が 15,214 千円で、このうち前納会費が 13,214 千円で差引 200 万円が繰越金で前期繰越金にくらべて非常に少い。

(3) 財産目録

ア. 基本財産としては、基本金、山本賞および藤原賞基金で 1,215 万円である。

イ. 積立金は、記念事業積立金および退職給与積立金で 602 万円である。

ウ. 運用財産は、普通預金、郵便振替貯金、定期預金等で 15,214 万円である。

エ. 什器備品は、金庫他 49 点で 242 万円、以上総額 35,804 千円である。

9. 昭和54年度監査報告

当舎監事が定款第 49 条にもとずき、さる 4 月 28 日朝倉監事と監査を実施した結果が報告された。(報告内容、別紙収支計算書の 5 頁参照。)

以上54年度決算報告、監査報告について議長が質問を促したが別に質問はなかったので賛成者の同意を求めたところ全員拍手があったので承認された。

10. 会費値上げのための定款の一部改正について

関根理事から本提案に対して次のとおり説明が行われた。

現行会費は、昭和53年春の総会で承認されたもので54年1月から若干の値上げが実施された。その後諸物価の値上がりは、予想以上に大きく、これに対しては会費の100%徴収、在庫図書の一掃などの他収入の増加促進、会員数の増大および経費節約などで対処してきている。一方、2年後に迫った学会創立100周年の記念事業については、53年以降200万円ずつ積立てを行ってきたが、今後もこれを続けてこの行事を成功させなければならない。

値上げを今承認していただいても本年度予算にプラスになるのは56年1月～3月までの分である。今後今まで同様の学会活動を続けてゆくためには、会員の理解によって値上げを承認していただかねばならない。

主な理由としては、

(1) 郵便料の値上げについて

第3種、第4種の扱いを受けている学会誌の郵便料金の値上げが55年は取り止めになったが56年以降値上げされるおそれがある。

(2) 印刷製本費について

必要な経費の大半を占めているが、54年度に4.6%の値上がりとなり、今後は用紙代の暴騰とともにますます値上がりが予想される。

(3) 交通費について

国鉄運賃等の値上げにより、気象研究所の筑波移転に伴う理事、各種委員の交通費および地方における大会に出席の関係理事の交通費が大きく影響を受けることになった。

(4) 会議費について

今後、大会会場などの借上料の増加が予想される。

(5) 学会員について

会員増加運動を実施したため、昭和54年8月現在で1年間に260名の純増をみた。一方、過去数年の退会会員数は、40～50名にすぎなかったが、今後は相当数ずつ増加してくることが予想される。たとえば、気象官職の退職職員数は、この先数年は、年100名位ずつ増加する見込みで、この中には、学会

員も相当含まれており、B会員からA会員への変更、または、退会希望者も漸増するのではないかと懸念される。

なお、詳細は「天気」の2月号に掲載しており、御承知のことと思うが、15%の会費の値上げをお願いすることにし、会費値上げのための定款第6条を次のように変更することを提案する次第である。

定款第6条第1項第1号中

「4,000円」を「4,600円」に

「2,500円」を「2,900円」に

「7,500円」を「8,600円」に

「4,700円」を「5,400円」に

定款第6条第3項

「5,400円」を「6,000円」に

「10,800円」を「12,000円」に改める。

議長が以上担当理事から示された56年1月からの会費値上げの理由について質問やコメントがあったら遠慮なく挙手されるよう促したが、質問はなかった。

質問がないので採決した結果は、次のとおりである。

| | 総人員 | 可 | 否 | 保留 | 無効 |
|------|-----|-----|-----|----|----|
| 出席会員 | 191 | 186 | 5 | | |
| 書面参加 | 744 | 566 | 130 | 48 | |
| 計 | 935 | 752 | 135 | 48 | |

議長より、本案は、定款第53条により出席会員935名の2/3(623名)以上の賛成があったので可決成立の旨の宣言があり(満場拍手)、次の議題に進んだ。

11. 昭和55年度事業計画案

小平理事から、次のとおり説明が行われた。

(1) 本年は、昨年にも増して「天気」「気象集誌」「気象研究ノート」をそれぞれ充実したものにしてゆく。

(2) 夏季大学を引き続いて7月28日～31日まで日本教育会館において行う。また、大阪でも昨年大盛況であったので、引き続いて7月30日～8月1日まで大阪労働会館で行う。

(3) 気候変動シンポジウムを引き続いて開催する。

(4) 2年後に迫った当学会創立100周年記念事業実施のため、常任理事会で特に時間を割いて検討してきたが、準備委員会を昨年12月発足させ、本年1月第1回の会合をもち、いろいろと計画を策定中である。その主なものは、

ア。「天気」Vol. 29, No. 4を特別号とし、レビュ

一、座談会、通史（75周年記念以後の25年間）、総目録を企画中である。

イ。「気象集誌」特別号の刊行（Ser. II, Vol. 60の中の1号とし通し頁）300~400頁、1982年（Vol. 60）からインデックスを新設する。特別号の原稿募集要領は、近く「気象集誌」に英文で、また、「天気」に和文で告示する。

ウ。学会100年史、75年史に引き続いて25年間でまとめる。

エ。記念式典

オ。1982年5月に、海洋関係 Study が気象庁で計画があるので、そのあと、外国の研究者に地方講演をして貰う。

また、1982年秋、東京で熱帯気象のシンポジウムを WMO、日本気象学会、アメリカ気象学会の共催で開催する計画である。

カ。広い範囲の読者層を考えた気象学の普及書の刊行を計画している。

12. 昭和55年度予算書（案）

関根理事から、会費値上げについての承認のお礼が述べられたあと、別紙資料にもとずき予算編成の方針と内容について次のとおり説明が行われた。

予算書の形式は、収支計算書と同じで、支出の部では、管理費と事業費とに大別してある。

(1) 収入の部

ア。会費収入は、今年の12月までは現行通りで、来年1月から3月までは、さきほど御承認いただいた約15%の会費値上げで前年度と同様の学会活動ができる見込みである。

イ。会費は、事務局の努力で100%納入を目途とし、前年に引き続き新入会員の獲得、また、会費外収入では普及書刊行による収入を予定している。

(2) 支出の部

ア。物価高を考慮し、事務費、会議費、通信費等は、極力節約してゆく。

イ。管理費の印刷製本費は、本年は、会員名簿の作成と役員選挙関係の用紙類作成のため大幅に増額となった。

ウ。事業費の印刷製本費は、紙代の高騰、気象学への手引書刊行等のため大幅に前年度予算額より増額となった。

なお、予算書（案）の詳細については、「天気」3月号に掲載してあるので、皆様には、よく承知されていることと思われる。

議長が以上2人の担当理事から説明された昭和55年度事業計画（案）、予算書（案）に対して、質問、コメントを促したところ、

（質問） 会費収入で予算額が決算額より90万円少いこと、もう一つ印刷製本費が、やはり予算額が決算額より330万円少くなっているがこれでさしつかえないか。

（答） 予算をたてる場合、会費は、会員数の98%の徴収として計上しているが、実際には事務局の努力で100%近い徴収となっているのでこういう結果となっている。また、印刷製本費については、「気象集誌」500頁、「天気」780頁、「気象研究ノート」720頁として予算に計上しているが、これら機関誌の充実により「気象集誌」では610頁、「天気」では842頁というように大幅に増頁となったためである。

ほかに質問はなく、採決したところ、賛成多数で以上案件は承認された。

13. その他

昭和56年の秋季大会は、順番からすると中部支部が当番に当るが、事務的に遅れているので早急に名古屋にお願いする。

議長 以上で私の議長としての任務を解かせていただきますが、お陰様で議事がスムーズに終了しまして皆様の御協力誠にありがとうございました。

収 支 計 算 書

(昭和54年4月1日から昭和55年3月31日まで)

収 入 の 部

| 勘 定 科 目 | | | 予 算 額 | 決 算 額 | 差 異 | 備 考 |
|---------|---------------------|-------------------------|------------|------------|------------|-------------------------|
| 大 科 目 | 中 科 目 | 小 科 目 | (円) | (円) | (円) | |
| 会費収入 | | | 23,702,800 | 26,749,483 | 3,046,683 | |
| | 通 常 会 員 入 会 費 収 入 | 個 人 会 員 入 会 費 収 入 | 16,837,600 | 18,923,084 | 2,085,484 | |
| | 団 体 会 員 入 会 費 収 入 | 団 体 会 員 入 会 費 収 入 | 3,834,000 | 3,938,410 | 104,410 | |
| | 外 国 人 会 員 入 会 費 収 入 | 外 国 人 個 人 会 員 入 会 費 収 入 | 480,800 | 685,373 | 204,573 | |
| | | 外 国 人 団 体 会 員 入 会 費 収 入 | 300,400 | 542,716 | 242,316 | |
| | 賛 助 会 員 入 会 費 収 入 | 賛 助 会 員 入 会 費 収 入 | 2,250,000 | 2,659,900 | 409,900 | |
| 事業収入 | | | 15,426,000 | 11,223,138 | △4,202,862 | |
| | 気象研究ノート収入 | 気象研究ノート収入 | 11,626,000 | 6,812,235 | △4,813,765 | |
| | 予稿集収入 | 予稿集収入 | 1,300,000 | 1,492,092 | 192,092 | |
| | その他収入 | その他収入 | 2,500,000 | 2,918,811 | 418,811 | 初級者気象研修書店扱 papers |
| 補助金収入 | | | 1,930,000 | 2,170,000 | 240,000 | |
| | 文部省補助金収入 | 科学研究費収入 | 1,930,000 | 2,170,000 | 240,000 | |
| 雑収入 | | | 6,000,000 | 7,260,763 | 1,260,763 | |
| | 雑収入 | 雑収入 | 6,000,000 | 7,260,763 | 1,260,763 | 受取利息, 別刷, 投稿料, 広告料, その他 |
| 基本財産収入 | | | 200,000 | 659,902 | 456,902 | |
| | 基本財産収入 | 預金収入 | 200,000 | 656,902 | 456,902 | |
| 収 入 計 | | | 47,258,800 | 48,060,286 | 801,486 | |
| 前期繰越金 | | | 23,205,952 | 23,205,952 | 0 | |
| | 前 受 金 | 前 納 会 費 | 12,343,207 | 12,343,207 | 0 | 昭和54年4月~12月の前納会費 |
| | 前 期 繰 越 額 | 前 期 繰 越 額 | 10,862,745 | 10,862,745 | 0 | |
| 合 計 | | | 70,464,752 | 71,266,238 | 801,486 | |

支 出 の 部

| 勘 定 科 目 | | | 予 算 額 | 決 算 額 | 差 異 | 備 考 |
|---------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------------------------|
| 大 科 目 | 中 科 目 | 小 科 目 | (円) | (円) | (円) | |
| 管理費 | | | 9,458,200 | 9,381,481 | △ 76,719 | |
| | 給 料 手 当 | 給 料 手 当 | 4,126,200 | 4,410,378 | 284,178 | |
| | 退 職 金 | 退 職 金 | 0 | 0 | 0 | |
| | 退職給与引当金額繰入 | 退職給与引当金額繰入 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| | 福 利 厚 生 費 | 福 利 厚 生 費 | 300,000 | 284,058 | △ 15,942 | |
| | 会 議 費 | 会 議 費 | 615,000 | 337,801 | △ 282,199 | |
| | 旅 費 交 通 費 | 旅 費 交 通 費 | 80,000 | 188,800 | 108,800 | |
| | 通 信 運 搬 費 | 通 信 運 搬 費 | 1,000,000 | 925,933 | △ 74,067 | |
| | 什 器 備 品 費 | 什 器 備 品 費 | 100,000 | 134,600 | 34,600 | |
| | 消 耗 品 費 | 消 耗 品 費 | 100,000 | 93,920 | △ 6,080 | |
| | 印 刷 製 本 費 | 印 刷 製 本 費 | 800,000 | 690,324 | △ 109,676 | |
| | 租 税 公 課 | 租 税 公 課 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| | 雑 費 | 雑 費 | 900,000 | 855,667 | △ 44,333 | |
| | 支 部 交 付 金 | 支 部 交 付 金 | 1,327,000 | 1,355,000 | 28,000 | |
| 事業費 | | | 39,743,600 | 42,750,421 | 3,006,821 | |
| | 図 書 購 入 費 | 図 書 購 入 費 | 250,000 | 156,000 | △ 94,000 | |
| | 臨 時 雇 賃 金 | 臨 時 雇 賃 金 | 864,000 | 276,460 | △ 587,540 | |
| | 会 議 費 | 会 議 費 | 1,200,000 | 1,607,800 | 407,800 | |
| | 旅 費 交 通 費 | 旅 費 交 通 費 | 275,000 | 275,000 | 0 | |
| | 通 信 運 搬 費 | 通 信 運 搬 費 | 3,491,600 | 2,137,557 | △1,354,043 | |
| | 編 集 費 | 編 集 費 | 3,409,600 | 2,793,320 | △ 616,280 | |
| | 印 刷 製 本 費 | 印 刷 製 本 費 | 29,273,400 | 34,882,629 | 5,609,229 | 天気, 気象集誌 papers 予稿集, 初級者研修 |
| | 負 担 金 | 負 担 金 | 7,000 | 4,655 | △ 2,345 | |
| | 雑 費 | 雑 費 | 563,000 | 207,000 | △ 356,000 | |
| | 学 会 賞 支 出 | 学 会 賞 支 出 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| | 藤 原 賞 支 出 | 藤 原 賞 支 出 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| | 奨 励 金 支 出 | 奨 励 金 支 出 | 210,000 | 210,000 | 0 | |
| 基本財産繰入 | | | 0 | 0 | 0 | |
| | 基 本 財 産 入 | 基 本 財 産 入 | 0 | 0 | 0 | |
| 積立預金支出 | | | 2,000,000 | 3,500,000 | 1,500,000 | |

| 勘 定 科 目 | | | 予 算 額 | 決 算 額 | 差 異 | 備 考 |
|--------------|------------------|------------------|------------|------------|------------|----------------------|
| 大 科 目 | 中 科 目 | 小 科 目 | (円) | (円) | (円) | |
| | 退職給与積立 預金支出 | 退職給与積立 預金支出 | 0 | 0 | 0 | |
| | 記念事業準備 積立預金支出 | 記念事業準備 積立預金支出 | 2,000,000 | 3,500,000 | 1,500,000 | |
| 予 備 費 | | | 400,000 | 420,000 | 20,000 | |
| | 予 備 費 | 予 備 費 | 400,000 | 420,000 | 20,000 | |
| 支 出 計 | | | 51,601,800 | 56,051,902 | 4,450,102 | |
| 次 期 繰 越 金 | | | 18,862,952 | 15,214,336 | △3,648,616 | |
| | 前 受 金 | 前 納 会 費 | 13,214,100 | 13,214,100 | 0 | 昭和55年4月～12月 の前納会費 |
| | 次 期 繰 越 支 差 額 | 次 期 繰 越 支 差 額 | 5,648,852 | 2,000,236 | △3,648,616 | |
| 合 計 | | | 70,464,752 | 71,266,238 | 801,486 | |

財 産 目 録

(昭和55. 3. 31 現在)

社団法人 日本気象学会
理事長 岸保勘三郎

資 産 総 額 35,804,336 円

1. 基 本 財 産 (基本金, 基金) 12,150,000 円

不 動 産 0 円

動 産 12,150,000 円

| 種 類 | 預 入 先 | 金 額 | 現 在 高 | 備 考 |
|---------|---------------|------------|------------|-----------|
| 貸 付 信 託 | 住友信託銀行 (新橋支店) | 7,650,000 | 7,650,000 | 基 本 金 |
| 〃 | 〃 | 3,000,000 | 3,000,000 | 山 本 賞 基 金 |
| 〃 | 〃 | 500,000 | 500,000 | 藤 原 賞 基 金 |
| 〃 | 三井信託銀行 (本 店) | 1,000,000 | 1,000,000 | 〃 |
| 計 | | 12,150,000 | 12,150,000 | |

2. 積 立 金 6,020,000 円

| 種 類 | 預 入 先 | 金 額 | 現 在 高 | 備 考 |
|---------|---------------|-----------|-----------|-------------------|
| 貸 付 信 託 | 住友信託銀行 (新橋支店) | 2,000,000 | 2,000,000 | 記 念 事 業 積 立 金 |
| 〃 | 三井信託銀行 (本 店) | 3,500,000 | 3,500,000 | 〃 |
| 金 銭 信 託 | 住友信託銀行 (新橋支店) | 520,000 | 520,000 | 職 員 退 職 給 与 積 立 金 |
| 計 | | 6,020,000 | 6,020,000 | |

3. 運 用 財 産 15,214,336 円

| 種 類 | 預 入 先 | 金 額 | 現 在 高 | 備 考 |
|---------|-------------|------------|------------|-----|
| 普 通 預 金 | 第一勸業銀行大手町支店 | 2,472,008 | 2,472,008 | |
| 〃 | 住友銀行神田支店 | 517 | 517 | |
| 郵便振替貯金 | 東京中央郵便局貯金課 | 111,881 | 111,881 | |
| 定 期 預 金 | 協 和 銀 行 本 店 | 10,600,000 | 10,600,000 | |
| 定 額 貯 金 | 東京中央郵便局貯金課 | 2,000,000 | 2,000,000 | |
| 現 金 | 手 許 保 管 | 29,930 | 29,930 | |
| 計 | | 15,214,336 | 15,214,336 | |

4. 什 器 備 品 49点 2,420,000 円

金 庫 他

日本気象学会監査報告

1. 監査月日 昭和 55 年 4 月 28 日
 1. 監査場所 東京都千代田区大手町 1-3-4
 日本気象学会事務局

1. 監査内容

- | | |
|----------------|----------------|
| 1) 昭和54年度収支計算書 | 6) 備品台帳 |
| 2) 収入簿 | 7) 領収証綴 |
| 3) 支出簿 | 8) 預金証書及普通預金通帳 |
| 4) 現金出納簿 | 9) 郵便振替受払通知票綴 |
| 5) 預金出納帳 | 10) 国庫金送金通知書綴 |

1. 監査意見

監査の結果、昭和 54 年 4 月 1 日から昭和 55 年 3 月 31 日までの会計年度の収支計算書は正しいものと認める。書類の記帳は正確であり、整理も極めて良好であり、会費の収入状況は良好であり、会費の前納率も 98% に達している。

事務局業務は事務の能率化、簡素化をはかっており、このため財政の安定に寄与していることを多とする。

また、財政の安定に伴い学会活動は一層活発化しているが、これは各理事、各委員の奉仕的な努力に負うところが大きい。

しかし、2年後に控えた学会創立百周年、気象研究所の筑波移転、物価の上昇傾向など新しい事態に対処するため、さらに一層努力し学会活動の発展および学会財政の健全を計るよう希望する。

昭和 55 年 4 月 28 日

監 事 朝 倉 正 ㊞
 当 舎 万 寿 夫 ㊞

予 算 書 (案)

(昭和55年4月1日から昭和56年3月31日まで)

収 入 の 部

| 勘 定 科 目 | | | 予 算 額 | 前 年 度 予 算 額 | 増 減 | 備 考 |
|---------|---------------------|-------------------------|------------|----------------|------------|----------------------------|
| 大 科 目 | 中 科 目 | 小 科 目 | (円) | (円) | (円) | |
| 会費収入 | | | 25,851,100 | 23,702,800 | 2,148,300 | |
| | 通 常 会 員 入 会 費 収 入 | 個 人 会 費 収 入 | 18,121,950 | 16,837,600 | 1,284,350 | |
| | 団 体 会 員 入 会 費 収 入 | 団 体 会 費 収 入 | 4,001,550 | 3,834,000 | 167,550 | |
| | 外 国 人 会 員 入 会 費 収 入 | 外 国 人 個 人 会 員 入 会 費 収 入 | 677,600 | 480,800 | 196,800 | |
| | | 外 国 人 団 体 会 員 入 会 費 収 入 | 440,000 | 300,400 | 139,600 | |
| | 賛 助 会 員 入 会 費 収 入 | 賛 助 会 費 収 入 | 2,610,000 | 2,250,000 | 360,000 | |
| 事業収入 | | | 18,225,000 | 15,426,000 | 2,799,000 | |
| | 気 象 研 究 ノ ー ト 収 入 | 気 象 研 究 ノ ー ト 収 入 | 12,805,000 | 11,626,000 | 1,179,000 | |
| | 予 稿 集 収 入 | 予 稿 集 収 入 | 1,520,000 | 1,300,000 | 220,000 | |
| | そ の 他 収 入 | そ の 他 収 入 | 3,900,000 | 2,500,000 | 1,400,000 | 初級者気象研修 papers 書店扱 気象学への手引 |
| 補助金収入 | | | 2,170,000 | 1,930,000 | 240,000 | |
| | 文 部 省 補 助 金 収 入 | 科 学 研 究 費 収 入 | 2,170,000 | 1,930,000 | 240,000 | |
| 雑収入 | | | 8,000,000 | 6,000,000 | 2,000,000 | |
| | 雑 収 入 | 雑 収 入 | 8,000,000 | 6,000,000 | 2,000,000 | 受取利息, 別刷投稿料, 広告料, その他 |
| 基本財産収入 | | | 600,000 | 200,000 | 400,000 | |
| | 基 本 財 産 収 入 | 預 金 収 入 | 600,000 | 200,000 | 400,000 | |
| 収 入 計 | | | 54,846,100 | 47,258,800 | 7,587,300 | |
| 前期繰越金 | | | 15,214,336 | 23,205,952 | △7,991,616 | |
| | 前 受 金 | 前 納 会 費 | 13,214,100 | 12,343,207 | 870,893 | 昭和55年4月~12月の前納会費 |
| | 前 期 繰 越 収 支 差 額 | 前 期 繰 越 収 支 差 額 | 2,000,236 | 10,862,745 | △8,862,509 | |
| 合 計 | | | 70,060,436 | 70,464,752 | △ 404,316 | |

支出の部

| 勘 定 科 目 | | | 予 算 額 | 前年度予算額 | 増 減 | 備 考 |
|---------|------------|------------|------------|------------|-----------|--|
| 大科目 | 中科目 | 小科目 | (円) | (円) | (円) | |
| 管理費 | | | 10,707,000 | 9,458,200 | 1,248,800 | |
| | 給料手当 | 給料手当 | 4,419,000 | 4,126,200 | 292,800 | |
| | 退職金 | 退職金 | 0 | 0 | 0 | |
| | 退職給与引当金繰入額 | 退職給与引当金繰入額 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| | 福利厚生費 | 福利厚生費 | 300,000 | 300,000 | 0 | |
| | 会議費 | 会議費 | 500,000 | 615,000 | △ 115,000 | |
| | 旅費交通費 | 旅費交通費 | 404,000 | 80,000 | 324,000 | |
| | 通信運搬費 | 通信運搬費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | |
| | 什器備品費 | 什器備品費 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| | 消耗品費 | 消耗品費 | 50,000 | 100,000 | △ 50,000 | |
| | 印刷製本費 | 印刷製本費 | 1,650,000 | 800,000 | 850,000 | 会員名簿 選挙関係を含む |
| | 租税公課 | 租税公課 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| | 雑費 | 雑費 | 850,000 | 900,000 | △ 50,000 | |
| | 支部交付金 | 支部交付金 | 1,324,000 | 1,327,000 | △ 3,000 | |
| 事業費 | | | 41,622,700 | 39,743,600 | 1,879,100 | |
| | 図書購入費 | 図書購入費 | 200,000 | 250,000 | △ 50,000 | |
| | 臨時雇賃金 | 臨時雇賃金 | 288,000 | 864,000 | △ 576,000 | |
| | 会議費 | 会議費 | 1,477,000 | 1,200,000 | 277,000 | |
| | 旅費交通費 | 旅費交通費 | 150,000 | 275,000 | △ 125,000 | |
| | 通信運搬費 | 通信運搬費 | 3,586,800 | 3,491,600 | 95,200 | |
| | 編集費 | 編集費 | 3,556,800 | 3,409,600 | 147,200 | |
| | 印刷製本費 | 印刷製本費 | 31,547,100 | 29,273,400 | 2,273,700 | |
| | 負担金 | 負担金 | 7,000 | 7,000 | 0 | 天気、気象集誌、 papers 予稿集、初 級気象研修 気象学への手引 |
| | 雑費 | 雑費 | 300,000 | 563,000 | △ 263,000 | |
| | 学会賞支出 | 学会賞支出 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| | 藤原賞支出 | 藤原賞支出 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| | 山本賞支出 | 山本賞支出 | 100,000 | 0 | 100,000 | |
| | 奨励金支出 | 奨励金支出 | 210,000 | 210,000 | 0 | |
| 基本財産繰入 | | | 0 | 0 | | |
| | 基本財産繰入 | 基本財産繰入 | 0 | 0 | | |

| 勘 定 科 目 | | | 予 算 額 | 前 年 度 額 | 増 減 | 備 考 |
|--------------|----------------------------|----------------------------|------------|------------|------------|----------------------|
| 大 科 目 | 中 科 目 | 小 科 目 | (円) | (円) | (円) | |
| 積立預金 支 出 | | | 2,000,000 | 2,000,000 | 0 | |
| | 退 職 給 与 積 立 預 金 支 出 | 退 職 給 与 積 立 預 金 支 出 | 0 | 0 | 0 | |
| | 記 念 事 業 準 備 積 立 預 金 支 出 | 記 念 事 業 準 備 積 立 預 金 支 出 | 2,000,000 | 2,000,000 | 0 | |
| 予 備 費 | | | | | | |
| | 予 備 費 | 予 備 費 | 300,000 | 400,000 | △ 100,000 | |
| 支 出 計 | | | 54,629,700 | 51,601,800 | 3,027,900 | |
| 次 期 繰 越 金 | | | 15,430,736 | 18,862,952 | △3,432,216 | |
| | 前 受 金 | 前 納 会 費 | 13,949,100 | 13,214,100 | 735,000 | 昭和56年4月～12月 の前納会費 |
| | 次 期 繰 越 収 支 差 額 | 次 期 繰 越 収 支 差 額 | 1,481,636 | 5,648,852 | △4,167,216 | |
| 合 計 | | | 70,060,436 | 70,464,752 | △ 404,316 | |